

別紙⑥ 岡山繊維産地協議会 金融検討会議

日時：令和 6 年 10 月 17 日（木曜日）15 時 30 分～17 時 00 分

会場：倉敷ファッションセンター 4F ホール（岡山県倉敷市児島駅前 1 丁目 46 番地）

議事要旨：

事務局より開会挨拶、本日の趣旨を説明した。

意見交換をファシリテーター佐藤豪人氏にて行った。

- ・ 前回の金融検討会議、及び前 2 回の若手交流会での検討内容を説明
- ・ 各支店の責任者、若手の出席者をバランスを考慮し 4 グループへグループ分けの上、若手交流会で出された 4 案について各々検討を実施し、良い点、改善点、実現化に向けての具体案について発表することとした。

【各グループより検討結果の発表】

（ファッションショー）

- ・ 児島の課題：後継者不足、若い人材の不足
- ・ 金融機関のならではの強みを生かせる
- ・ 飲食店やアパレルなど児島にはいい会社が多い。それを P R できるきっかけになればいい

<ファッションショーの具体的な案>

- ・ 学生とのコラボ（若手の人材確保のため） ※倉敷市立短大など
- ・ セブンティ・セブンティー・・・高齢 70 歳と若者 17 歳が同じ服を着る、実際に見て感じてもらいたい

・ 児島で開催→SNS やインスタで配信、全国で見ってもらう→児島地区からインフルエンサーを輩出

・ ジーンズだけでなく学生服など他のアイテムも含めてファッションショーを開催。

（道の駅）

- ・ 留まれるところがあったらいい
- ・ 設置場所：交通の利便性を考えるとポートルース場
- ・ 人のつながり 経済効果が増える
- ・ 県外の観光客と地元の生産者が関われる場所→地元の人の交流も増える
- ・ 経済効果について
- ・ 児島でお金を落としてくれる
- ・ 児島の特産をアピール
- ・ 魅力を発信
- ・ 雇用が増える
- ・ 観光スポットにする→四国から児島を通り過ぎて岡山へ行くのではなく、児島でおりてもらえる観光スポットになる

- ・ ツーリングも多いので観光スポットにするべき

<未来像>

- ・ 観光客が増えて、雇用が生まれて、若い方も増える
- ・ 兎島に住む人が増える。その人が兎島にお金を落とす

(コンセプトホテル)

- ・ 観光客が兎島に留まる時間が増える
- ・ ホテル単体で兎島に留まる理由にする
- ・ 他県では、使ってなかった電車をホテルにした事例あり、参考に
- ・ 兎島の名産なども関連づいて、兎島にお金を落として兎島が発展していく

<未来像>

- ・ 兎島の特産物を知ってもらう
- ・ ホテルで食事、食べて良さを知ってもらう
- ・ 経済効果が生まれる
- ・ デニムを買ってもらう
- ・ 人が集まることで活性化
- ・ 周りの施設も増加し、雇用も増える→ホテルは大きなお金が生まれる。

例) 山形県の例

(温泉)

- ・ 最近の人たちは温泉を求めて他県から遠征に来る
- ・ 人を呼ぶ材料になる
- ・ 温泉に入ったあと付近で、食事→地域の飲食店の活性化

<具体例>

- ・ 兎島と言えば、ボートレースやジーンズ、これらとのコラボ
- ・ 館内着をジーンズにする
- ・ 施設内にモニター設置し、競艇を見ってもらう→温泉以外にもお金を落としてもらえらる。

ファシリテーター佐藤氏より、

若手がどの様に考え思考を展開しているか明らかにするため、出された意見に対し、若手参加者が良いと思った意見を選んでください

(選考)

佐藤氏より、

岡山繊維産地協議会の金融検討会は、金融機関として繊維の産地のことを考える会である。社会と産地の中に、金融の方が居り、そこで選ばれたものが産地にとって必要なものといえるのではないか。

今回、選ばれたテーマは全体的に「観光」といえるのではないか。

ここから更に、各銀行を超えて意見が出ればおもしろい結果に繋がるのではないか

次に、若手の意見について、責任者の方が良いと思った意見を選び、意見を述べてください。

- ・ いずれもしっかり考えられている。初回では思いつかなかった。驚いた
- ・ 4つの発表なかで、コンセプトホテルがおもしろい。どれくらいの規模で実現するかを考えていけばより具体的になるだろう
- ・ ホテルがよい。児島のロケーションは関攻略にとり魅力的である。今はやりのグランピングや、コンテナホテルなどもいいかもしれない。
- ・ 道の駅は、子供のおむつ替えや子供用のトイレがある、ということになれば家族連れに良い。ここからは施設としての目玉を決めるのがポイント
- ・ 道の駅は、ボート見ながら食事などがいいのではないか
- ・ ファッションショーは、学生とのコラボはおもしろい。ショー単体での開催もあり得るが、既存イベントとコラボしても良いのではないか
- ・ ファッションショーは、キッチンカーなどの出店があればより盛り上がるのではないか。
- ・ 温泉について、児島にあったらいいと思う。児島でも湧くのか？湧くなら行ってみたい。
- ・ どの案も非常に良い。
- ・ 今ある資源より生かして、あまり資金をかけずに実現していく方がいいのではないか
- ・ 訴求力が課題である。地域外に知ってもらえるようになればいい。

金融機関参加者より、以下の発言があり、本日検討した4案について、参加者が最もよかった、実現したいと思う案を選定することとした。

- ・ 現実的に0から1にすること、現在全く存在しないものを無から立ち上げることは難しいといえる。従って、今あるものを更に大きくし児島を良くしていく方法が良いのではないか

選考の結果、

「道の駅」と「ファッションショー」の選考者が最も多かった

そこで、この結果を参考に今後の金融検討会で議論を深め、実際に事業として進めることを目指すこととした

ファシリテーター佐藤氏より

続けていけばいいものになるのではないか

事例として、山形県の庄内地方に、田んぼの真ん中にホテルがある。観光要素は何もないと思っていた地域であるが、このホテルが大変な人気を博している。

売りは、春夏秋冬を感じられる、稲刈りの体験活動ができる、など。

ホテルの社長は当初、資金集めに苦労したが、第一地銀が融資をしてくれたことをきっかけ

に他の多くの賛同者から出資が集まり、ホテルができた。

このことから、銀行の力は非常に大きいといえる

また、日本グラフィック協会の総会が岡山であった。

そこで、フレッシュなキーワードとして「銀行」が出てきた。

金融機関が、協業のきっかけとしての役割を果たせるというものであった

については、熱意があれば岡山でも同様に、金融機関には実現できる力があると思う

金融機関参加者より、今後の金融検討会について、以下の発言があった

- ・今日の意見を更に議論し深めていく
- ・本日、繊維関連企業の方、行政の方がオブザーバーとして金融検討会議を視察されているが、次回の金融検討会からは参加の上、意見を頂きたいと考えている
金融機関と繊維関連企業が、取引の枠を超え、企業の枠を超えて産地や地域について意見を交わせる貴重な場であるので、意見交換できたらいいと思う
どのような場（形、頻度）にするかについて、本日決めることはできないが、この方向で進めていきたい
- ・次回以降は、本日のテーマの深掘りと、繊維関連企業との意見交換、この2本立てで進めていきたい。

事務局より、

今後の金融検討会議の進め方、及び次回11/14の岡山繊維産地協議会 全体会議について、お願いと説明を行った

- ・今後の金融検討会議は、金融を中心としながら、繊維の方も参加し進めていっていただきたい
- ・繊維の検討会議にも、金融の方に参加して頂きたい
繊維関連企業の若手経営者等が繊維業界をどの方向に進めていきたいか、について金融機関にも共有して頂きたい
- ・その議論の結果を、検討会に参加していない繊維関連企業にも共有していきたい。
岡山繊維産地協議会として、繊維業界全体で考えていきたい
具体的には各課題の解決をどのように進めていくかを考えていく
人材の確保、産地 PR、外国人の採用、金融機関との連携ほか
そこで、次回11/14の岡山繊維産地協議会 全体会議では、金融検討会議としての議論内容を発表していただきたい。発表者と発表内容を取りまとめて欲しい
- ・金融、業界だけでなく行政も一緒に産地の未来について考え、取り組んでいきたい。

【まとめ】若手交流会にて提案された4案をについて検討した結果、観光について考えていくという大枠と、具体的には「道の駅」と「ファッションショー」の2案が選ばれ、次回以

降は繊維業界からの参加者を加え、今後具体的な検討を行うこととなった。また、次回の岡山繊維産地協議会 全体会議では、金融検討会議より代表者が検討状況について発表を行うこととした。

以上

お問い合わせ先

岡山県産業労働部産業振興課地域産業班

電話：086-226-7352 FAX：086-224-2165

<https://www.pref.okayama.jp/soshiki43/>

一般社団法人倉敷ファッションセンター

電話：086-474-6800 FAX：086-474-6801

<https://www.k-fc.com/>